

一般撮影装置

一般撮影とは

身体に X 線を照射し、透過した X 線を受けて画像化する撮影法で、レントゲン写真とよばななじみ深いと思います。頭から足まで撮影部位や方法は多種多様です。

使用装置について

- ・ FUJIFILM 製
CR-IR348 型 (82 腎盂撮影室)
- ・ 日立製作所製
FPD 搭載フルデジタル Radnext-α 3 台
(85~87 一般撮影室)
- ・ 日立製作所製
医用 X 線高電圧装置 DHF-155H2 2 台
(82 腎盂撮影室、84 一般撮影室)
- ・ FUJIFILM 製
FUJIFILM DR CALNEO Smart C12 1 台
FUJIFILM DR CALNEO Smart S47 1 台

を使用しています。

基本的には、FPD (フラットパネルディテクタ) を使用した撮影を行っており、低線量で高画質な撮影が可能です。また、撮影したその場で画像が表示されるため迅速な診療に役立ちます。

FPD (フラットパネルディテクタ) とは

入力した X 線像をデジタル信号に変換し、画像データとして出力する装置です。高画質のデジタル X 線画像をリアルタイムに表示できます。

一般撮影検査室について

一般撮影室は、84~87 の 4 室です。立位撮影台、臥位撮影台の 2 種類の撮影台と X 線管球 1 台が各部屋にあります。



また、四肢などの整形領域で使用するためのワイヤレス FPD 装置 (FUJIFILM 製) が 3 台あります。



各検査室には、衣服の更衣を行ってもらう更衣室や更衣用のカーテンが設置されています。



検査の流れ（一般撮影検査）

- ① 84～87 のいずれかの一般撮影室にご案内します。
- ② 検査の目的部位に応じて脱衣や、着替えをお願いします。（金属や、プラスチック、シャツのプリントなどは画像に写りこんでしまうためです。）
- ③ 実際に撮影する際は、立った状態（立位）や、検査台に寝た状態（臥位）でいろいろな角度から撮影することがあります。つらい体位などがありましたらお声かけください。

腎盂撮影室について（82 腎盂撮影室）

当院の腎盂撮影室は、DIP（点滴静注腎盂造影検査）専用の撮影室となっております。この検査は、腎臓の機能と形態、尿管の形態や尿の動態を調べるための検査です。CT 検査に使用するヨード造影剤という薬を静脈注射して検査を行います。



DIP15 分後腹部写真



胸部写真



腹部写真